

## 美術－４

### 「学校・アート・出会いプロジェクト」実施メニュー【基本案】

\* 内容は、事前打合せを行い各学校の状況に応じて変更を加えていきます。

#### ■ 基本情報

ジャンル	美術・工芸（造形）		
対象となる学年	小学校 1, 2, 3, 4, 5, 6 支援学級 中学校 1, 2, 3 支援学級 特別支援学校 (小) 中 高)		
対象となる科目（例）	図工・美術		
実施可能地域	府内全域		
実施回数	1回	1回の 所要時間	概ね45～90分
実施可能人数	数名から60名ほどまで（ご相談ください）		
実施団体 （個人の場合は講師名）	団体名 代表者名 東 明 担当者名		
連絡先 所在地等	〒615-8195 京都市西京区川島権田町21番11 TEL / 075-392-5039、080-5358-1189 FAX / 無し Email / akirahigashi8@gmail.com		
団体、講師の プロフィール	東 明（ひがし あきら）美術作家 1974年広島県生まれ、1998年京都市立芸術大学美術学部彫刻専攻卒業 膨らむ服の作品“パラフーク”など、鑑賞者が実際に関わることで成立する立体作品を制作する。京都市の現役小学校での滞在制作やケニアの市民と関わるアートプロジェクトなど各方面で活躍中。日本各地で子どもや親子向けのワークショップも開催している。 <a href="https://akirahigashi.com/">https://akirahigashi.com/</a>		
実施可能な 時期（期間）	ご相談ください		

## ■実施内容

<p>対象となる プログラム</p>	<p>体験</p>
<p>テーマ (タイトル)</p>	<p>“手とからだの冒険” 不思議なアート体験と工作</p>
<p>趣旨・目標 ねらい</p>	<p>身体を使って体験型アートを楽しみ、帽子や服など参加者自身の身体がベースとなる工作を行うことで、自己を強く意識し、その自己と世界の面白さを接続することをねらいとします。その結果として、参加者の自己肯定感が高まり、他者の理解にも繋がると良いです。</p>
<p>全体計画 (案)</p>	<p>基本的にアート作品の体験遊びと工作プログラムの二本立てです。 ※人数や時間に合わせてどちらか一つに絞ることも可能です。</p> <p>■体験型アート作品の例</p> <p>《パラフック体験遊び》 布でできた服のような作品を着用し内部に空気を送り込むことでバルーンのように膨らむことができます。膨らみ続けるためには体を動かし続ける必要があるというものです。</p> <p>《パラシュート作品遊び》 様々な大きさの円錐形のパラシュート作品（ビニールや布製）を使って遊びます。大きなものは中に何人か入ることもできます。大人数に対応可能です。</p> <p>■工作プログラムの例</p> <p>《紙の帽子工作》 色画用紙や美術館のチラシなどを使って帽子を作ります。保育園のレクリエーションでの実施経験もあります。</p> <p>《紙の服工作》 クラフト紙を使ってベスト（チョッキ）を作ります。ほんの少し難易度が高いので小学校中高学年向けです。</p> <p>《大きな足を作る工作》 クラフト紙を使って大きな足のような靴のような作品を作ります。実際に履いて歩くことができるものです。小学2年生60名に向けて実施した実績があります。</p> <p>※工作に関しては、工夫すること、他の人のアイデアを知ることが大事にしており、図工科の内容に近いものです。</p>

	<p>■アート体験と工作の両方の要素を持った活動 《アナフーク》</p> <p>穴がたくさん空いたビニールをベースとして着用し、そのベースにフェルトや紐など様々な材料を思い思いに取り付け、自分自身を飾る造形遊びです。できあがった服の持ち帰りは出来ず、写真に撮って作品とします。</p> <p>■スケジュールの例</p> <p>パラフーク体験と帽子工作のセット、90分の場足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、自己紹介 5分</li> <li>・パラフーク体験 30分</li> <li>・帽子工作説明、工作開始 10分</li> <li>・休憩 10分</li> <li>・帽子工作 40分</li> <li>・意見交換、記念撮影、挨拶 5分</li> </ul> <p>※概ね、アート作品体験20～30分、工作40～60分が必要です。</p>
<p><b>実施場所</b></p>	<p>体育館や講堂など天井が高くて広い床のある部屋が理想です。屋外での実施は不可となります。</p>
<p><b>講師等</b></p>	<p>講師1人、スタッフ2～3人</p>
<p><b>備考</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な備品、設備等 大きな鏡があると良いです マイク、スピーカー</li> <li>・その他留意点 身体に障害をお持ちの児童さんでも参加が可能なアート体験や工作のプログラムも用意できます。</li> </ul>